

工 | 大 | 広 | 報

No.284

Winter 2017

2017年1月30日発行
(年4回発行)



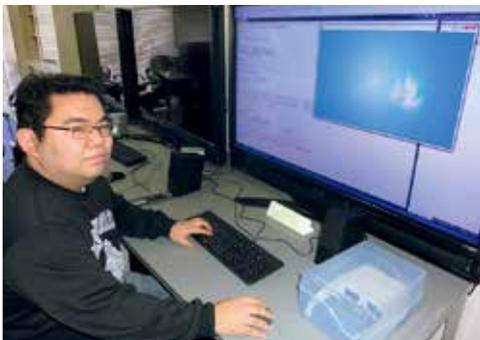
卒業研修に取り組む学生
研究に取り組む大学院生
大学院で学ぶ

知能エレクトロニクス学科 丸山次人研究室：バイオリン演奏ロボット (Tohtech-VIPRobo) を見ながらのミーティング

卒業研修に取り組む学生

工学部

情報通信工学科



シミュレーション結果の確認をしています

コンピューターグラフィックス (CG) に関する研究

さいとう ひるゆき
齊藤 寛之

情報通信工学科 4年



近年、家庭用のVR (Virtual Reality) ゲーム機器が発売されるなど、CG表現に関する技術の発展は目覚ましいものがあります。現実の光景を、CGに落とし込むための研究は、各所で行われており、私も卒業研修で彩雲のCG表現に関する研究を行っています。彩雲とは、巻層雲や巻積雲などの薄い雲が太陽の近辺を通る際に発生する、太陽光によって雲が不規則な虹色に色づく現象のことです。屋外の景観表現において、彩雲のような空の光学現象の再現およびその精度の向上は、そのままCGのリアリティの向上につながります。本研修を行うことで、私もCGの表現技術における発展の一助となれば、と思っています。

工学部

都市マネジメント学科



広瀬川での採水

森林域を流れる河川の水質特性に関する研究

ささき しょうた
佐々木 翔太

都市マネジメント学科 4年



私の研究内容は、面源汚濁源の一つである森林域を流れる河川の水質特性を明らかにすることです。宮城県内を流れる河川の晴天時における、季節ごとの水質変化を知るための比較・分析を行っています。28年度は青葉山の小河川内に5か所、その他に竜の口沢、広瀬川に採水地点を設け調査を行っています。3か所の河川を比較し、それぞれの河川の水質変化の特徴を検討しています。

研修では、毎月1回、研究室内で中間発表を行っています。この発表を通して、専門分野の知識だけでなく、わかりやすく説明できるよう工夫をし、プレゼンテーション能力を養っています。大学4年間の集大成として、悔いのない卒業論文に仕上げため精進しています。

ライフデザイン学部

安全安心生活デザイン学科



幼児対象の防災教育活動

大学生の地域活動について調査をしています

おおでら みか
大寺 未華

安全安心生活デザイン学科 4年



私は、大学生の地域活動における社会貢献と人材育成に関する調査をしています。本学科の地域安全安心センターでは、学生と教職員、地域の団体や住民の方と協力し合い、催事の支援や子どもたちの防災教育など、地域に密着したさまざまな活動を行っています。私も地域活動を経験してきましたが「学生は本当に人や地域のために役立っているのか、学生自身の成長につながられているのか、地域が学生に求めていることは何だろう」と疑問を抱くようになりました。そこで、地域活動に参加する学生と、受け入れ側の方に質問調査をしています。今まさにリアルな声が質問紙の中で繰り広げられています。大学生の地域活動の実態が、どのような結果になるか楽しみです。

卒業研修学内発表 日程

八木山キャンパス
工学部

知能エレクトロニクス学科 ……2月28日(火)
情報通信工学科 ……3月1日(水)
建築学科 ……2月13日(月)・14日(火)
都市マネジメント学科
……………2月9日(木)・10日(金)
環境エネルギー学科 ……2月14日(火)

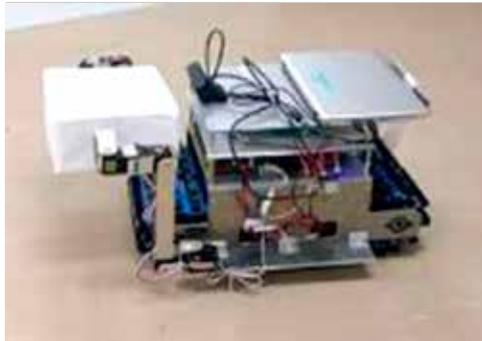
長町キャンパス
ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科
…1月31日(火)・2月1日(水) (予備日2月2日(木))
安全安心生活デザイン学科
……………2月25日(土)~3月1日(水)
経営コミュニケーション学科
……………1月24日(火)

研究に取り組む大学院生

大学院 工学研究科

電子工学専攻



双腕クローラ型不整地移動ロボット

不整地移動ロボットによる運搬作業の実現

せがわ わたる
瀬川 渉

電子工学専攻 博士(前期)課程 2年



私は双腕クローラ型不整地移動ロボットにおける自律的運搬作業に関する研究を行っています。災害現場などの人間には危険な場所で、ロボットがさまざまな作業を行うことが期待されています。中でも特に重要な運搬作業において、対象物の把持する位置の検出から把持持ち上げの一連の動作の自律化の方法を研究しています。学部4年生の時の卒業研究で用いた手法を発展させて、さまざまな形状・姿勢の対象物の把持動作を可能とするための新たな手法を考案しました。現在はその手法をロボットシステムに実装し、実際の環境で実験を行い検証しています。良い研究結果を得て、学会などで発表できるように日々努力しています。

大学院 工学研究科

建築学専攻



ポートランドの豊かな郊外
通りの関係を表す図

修士設計のためにポートランドを旅して

やまぎき まさゆき
山崎 雅之

建築学専攻 博士(前期)課程 2年



アメリカのオレゴン州ポートランド市に、都市計画や道路計画などを学ぶために7日間滞在しました。ポートランドでは、通りに賑わいを生み出すため、地面から約3mの高さ(建物の1階相当)をデザインし、街づくりをしています。ガラスで視線を遮るモノを無くし、地元の飲食店や小売店などのテナントにします。そうすることで、屋内にいる人は通りの賑わいを、通りの人は店内の賑わいを感じることができます。

また、歩道にはファニッシングゾーンと言われている、約1mのスペースが車道と歩道の間に設けられており、街灯・植栽・看板・ベンチ・イスとテーブル・自転車駐輪の柱などが設置されていました。今回、ポートランドで学んだ道路計画や国内事例などを参考に、現在修士設計を進めています。

大学院 ライフデザイン学研究科

デザイン工学専攻



「Johzenji Atelier Meets」プロジェクト

職住一致型シェア居住の研究を通して

ひらやま ゆうま
平山 雄磨

デザイン工学専攻 博士(前期)課程 2年



私は大学院で「職」と「住」空間に着目したシェアハウスの研究をしています。研究の一環として、現在は仙台市の都心部の一角に「Johzenji Atelier Meets」と名づけた、クリエイターを対象とした女性専用のシェアハウスを計画しています。

このシェアハウスは、住むだけでなく、自身の創作フィールドにおける技術や経験をシェアハウス内で活かし、共有できるような空間の在り方を検討しています。平成28年9月6日(火)には、女性を対象としたワークショップが開かれ、企業のイベントなどにも使用されています。いわゆる、コワーキングスペースの性格も持たせていこうと考えています。今後はさらに居住を想定した空間の設計と運営方法の計画を中心に、研究を進めていきたいと思っています。

卒業研修学外発表 日程

センダイメディアテーク (5階)	建築学科
	……2月25日(土)～3月1日(水)
	クリエイティブデザイン学科
	……2月17日(金)～21日(火)
	安全安心生活デザイン学科
	……2月25日(土)～3月1日(水)

大学院・専攻発表会 日程

八木山キャンパス	[工学研究科]
	電子工学専攻 …… 2月24日(金)
	通信工学専攻 …… 2月22日(水)
	建築学専攻 …… 2月22日(水)
	土木工学専攻 …… 2月10日(金)
	環境情報工学専攻 …… 2月20日(月)
長町キャンパス	[ライフデザイン学研究科] デザイン工学専攻…
	2月17日(金)

自己分析と企業研究を怠らずに

ちば のりゆき
千葉 則行 就職委員長／都市マネジメント学科 教授

2015年(平成27年)3月に卒業した学生の就職率は、2008年リーマン・ショック以前の水準まで回復し、約7年ぶりの高水準となりました。現4年生の就職率も順調に推移しており、就活直前を迎える3年生にとっても同じ状況が継続すると思われます。ここでしっかりと自分を見つめ直し(自己分析)、そして、自分にとって何がやりがいのある仕事なのかを追求し(企業研究)、就活に挑むことが大切です。

本学は皆さんの就活を全力で支援をします。ともに頑張りましょう。

工学部

知能エレクトロニクス学科



丁寧な言葉や敬語の表現も勉強しましょう

みやした てつや
宮下 哲哉

知能エレクトロニクス学科 教授

本学科4年生は、今年も全員内定したので3年生へのアドバイスです。就活に際しては、面接で個人の人柄とコミュニケーション力が見られます。「言葉を制する者は人生を制する」、「仕事は言葉の選び方が9割」と石原壮一郎氏が「大人のことばの選び方」で述べています。言葉を適切に使えと、自己紹介も自然に自信をもってできるようになります。丁寧な言葉や敬語の表現は、すぐには上達しないので早めに勉強をはじめて使ってみましょう。

工学部

情報通信工学科



本学主催合同企業説明会の活用を

のぐち かずひろ
野口 一博

情報通信工学科 教授

現4年生の就職活動は好調に推移し、11月末時点ではほぼ終結となりました。しかし、これから就職活動を開始する現3年生諸君には、ブラック企業の問題や今後の経済状況の悪化の恐れなど、数々の不安要素があると思います。こうした時こそ、諸君の先輩が多数在籍し、信頼できる企業が集結する3月の本学主催合同企業説明会の場を最大限に活用し、早めの就職活動を心がけることが重要です。諸君の健闘を期待します。

工学部

建築学科



早めに本気モードのスイッチを入れよう

さいち まさよし
最知 正芳

建築学科 教授

今年度も建築学科での就職活動は好調のうちに終息を迎えました。次年度に向けた企業からのアプローチも活発で、「売り手市場」とされる状況は維持されそうです。反面、英国のEU離脱や米国の大統領選挙に象徴されるような社会情勢の変化、東京五輪後の先行きの不透明さには、一抹の不安を禁じ得ません。不確定要素の多い今後の人生を送るための居場所を決める時が、近づいています。本気モードのスイッチは早めに入れましょう。

工学部

都市マネジメント学科



土木業界は今後も好調

きくち あきら
菊池 輝

都市マネジメント学科 教授

国家公務員試験一般職に2名が合格するなど、本学科の就職状況は今年も好調です。2020年東京五輪開催や2027年開業予定のリニア新幹線に向けて、土木技術者はまだまだ不足しているようです。また、私たちの文明的な生活を支えているインフラが老朽化しはじめており、メンテナンスも土木業界の重要な仕事になっています。自然災害が発生しやすい日本において、安全で快適な生活や経済活動を維持していくために、今後も欠かせない業界です。

工学部

環境エネルギー学科



短期決戦の備えを念入りに

さの てつや
佐野 哲也

環境エネルギー学科 准教授

売り手市場であることも反映し、環境エネルギー学科4年生の就活は、9月前にはほぼ収束しました。

3年生は、11月29日(火)に開催した「就活出陣式」から本格的に就活をスタートさせたこととなりますが、短期決戦の傾向が顕著に現れています。企業研究を念入りに行い、ときにはインターンシップに参加するなどして情報収集に努め、限られた期間でどのように振る舞うべきなのか戦略的にイメージしながら、就活に挑んでもらいたいと思います。

ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科



目標を決め希望を絞り込もう

もろずみ きよたか
両角 清隆

クリエイティブデザイン学科 教授

デザインに関係する業界の傾向の一つとして、中小企業・事務所を中心に採用決定の時期が遅い面があり、新卒の就職率が低くなる傾向がありますが、本学科では例年並みに採用が決定しつつあります。

3年生や未決定の4年生に望むことは、次の2点です。①自分の希望を整理し目標を定めること、その目標を達成するために自分の経験を整理し具体的にアピールできるように用意すること。②業界や企業を研究し、必要とされる能力を理解すること。そして、この2点をどのように結び付けて説明するか準備すること。そして、積極的にアプローチしてください。



やりがいを感じる 舞台へのスタート

この
今野 弘 学長

就職ということは、皆さんが人生を過ごす舞台を設定することです。その舞台は、これまで皆さんが培った能力を活かす場であるとともに、これまでの人生の2倍以上の年月を費やして、人生を歩む場でもあるということです。「どのような舞台に上がるか」は皆さんが決めるべきことなのですが、最も重要なポイントはやりがいを感じる舞台ということでしょう。ただやりがいというのは舞台に立つだけでなく、その舞台をみんなで支え合うことも大切なのです。一人ひとりのやりがいのある舞台に立つための活動を期待しています。

ライフデザイン学部

安全安心生活デザイン学科



就職とは経験の積み重ねで有りたい

なかじま さとし
中島 敏

安全安心生活デザイン学科 教授

就職とは自分が今まで勉強やスポーツ、アルバイトなど多くの経験が生かせる場所ではないかと思います。私も、会社を3つほど経験したことから、経験を積み重ねることが、大切だと感じています。「石の上にも三年」などと言いますが、簡単に好き嫌いでなく、自分の経験の上に就職先があることが理想であると思います。そのためにも、よく学び、よく遊び、全てを無駄にしない選択肢を選んでください。

ライフデザイン学部

経営コミュニケーション学科



「行動」に勝る準備なし

なりかわ まさてる
成川 正晃

経営コミュニケーション学科 教授

就職活動には準備が重要だと言われます。SPI対策や面接対策です。確かに重要です。

今年度の就職内定率も好調で、現在は100%の就職率を目指して支援をしております。

しかし、就職活動で苦戦する学生もいます。この中には準備ばかりに傾注して、実際の「行動」に移せない学生が多いようです。経営コミュニケーション学科では、さまざまなサポート体制があります。このサポートを活用しつつ、積極的に「行動」してください。

キャリアサポートプログラム

本学では、低年次から学生一人ひとりが卒業後のキャリアについて考え、希望と自信を持って就職活動に臨むことができるように支援プログラムを行っております。下記に主な取り組みを紹介しましたので、早期の就職活動にお役立てください。

1年生	就職ガイダンス 入学時から、大学での学びの意義・職業意識の醸成を促します。	インターンシップ 主に夏季休業中を利用し、企業での就業体験を通して自己の職業適性など、職業選択について考える機会とします。	就職活動なんでも相談（全学年対象） 学外から専門のキャリアアドバイザーを招き、就職活動に関するあらゆる相談のための窓口を設置しています。
	適性検査① 自分自身の性格や興味を理解し、将来の目標設定などを自覚します。		
2年生	就職ガイダンス 自分の適性・能力に応じた進路を考えることを促します。	就職試験対策講座②・③ 2・3年生、大学院1年生対象 夏季・春季休業を利用して行う民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。	就職試験対策講座②・③ 2・3年生、大学院1年生対象 夏季・春季休業を利用して行う民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。
	適性検査② これまでの学生生活を振り返り、改善すべき点や進路目標を考えます。		
3年生・大学院1年生	就職ガイダンス 本格的な就職活動のスタートに当たり、具体的な就職活動の方法について指導します。	就職活動支援講座 就職活動を進める心構え・マナーや業界・企業研究、自己分析、エントリーシート、面接などについて解説・説明します。	就職業界・企業研究会 企業から講師を招き、就職活動をはじめに当たっての心構えやそれぞれの業界・企業が求める人材などについてお話しいただく研究会を実施します。
	適性検査③ ※大学院対象外 職業についての理解を深め、自己PRや企業研究のきっかけづくりに役立てる検査を実施します。		
	就職模擬面接 外部講師を招き、面接の実技指導を実施します。		
	SPI・エントリーシート対策講座 多くの企業の採用試験で利用されているSPI試験対策講座と、書類選考で重要なエントリーシート対策講座を併せて実施します。		
4年生・大学院2年生	合同企業説明会 本学主催による合同企業説明会を実施します。	個別就職指導 キャリアサポート課、学科の就職委員および研修担当教員が連携し、個々に応じた就職相談・指導を実施します。	合同企業説明会・個別面談 未内定者に対し、学内で合同企業説明会を開催します。また、就職活動促進のために個別面談を実施します。

大学院で研究をしよう

こばやし まさき
小林 正樹 大学院工学研究科長／知能エレクトロニクス学科 教授

大学は教育とともに、研究をその社会的使命としています。世界にひとつのオリジナルな研究に時間をかけて、取り組むことができるのが大学院です。学生の皆さんが学部で学んだ知識や、身につけた論理的な思考力や分析力を、一つのテーマを徹底的に追究する研究室の場でさらに、深化させることができます。指導教員の個別指導のもと、課題を解決するためのプロセスや考え方といった課題解決能力、プレゼンテーション力を養います。学部学生の皆さん、面白そうな研究をしている研究室をぜひ訪ねてみてください。授業では、知ることのできない研究の素晴らしさを発見するでしょう。将来へ向け広い視野を育み、自身の価値を高め可能性を広げる場、大学院へ進学しましょう。

工学研究科／電子工学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

本専攻は、学部の3つの分野(電子機械・ロボット、医学・バイオ、光・情報デバイス)に対応した以下の分野で構成されています。博士(前期)課程では、高度なエンジニアを育成することを目標に、博士(後期)課程では、高度な専門知識と問題解決能力を備えた研究者、教育者、リーダーとなるエンジニアの育成を目標に教育・研究を行っています。

- システム分野
- センシング分野
- デバイス分野

工学研究科／通信工学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

博士前期課程では、講義と研修を通して情報通信に関する理論や技術を中心に学びます。専攻の各分野における技術者と研究者の養成を目的に、高度な技術力と総合力、さらに豊かな想像力をもつ人材を育成します。課程修了生は、専門知識が豊富で応用開発能力に優れていると、多くの企業から高い評価を得ています。

- 光通信工学分野
- 電磁波動工学分野
- 基礎情報工学分野
- 情報処理工学分野

工学研究科／建築学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

建築物が完成するまでには、大まかに計画→設計→構造→見積・生産→施工→環境設備といった5つのステップを踏みます。本専攻はこのステップに対応した5分野に分かれてホリスティックな教育を実施し、優れた建築家の育成に努めています。在籍中には、1級建築士受験資格を得るための1年間の実務経験も取得できます。

- 建築史・意匠分野
- 建築・都市計画分野
- 建築環境工学分野
- 建築生産工学分野
- 制振構造学分野

工学研究科／土木工学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

本専攻には下記の5研究分野があり、それぞれの分野では、われわれの日常の暮らしを支える社会資本に関わる重要なテーマについて教育・研究を行っています。大学院生は、学部での教育に続いて、最新の科学技術に関する知識を学ぶとともに、主体的に研究を行うことにより、さらに実力をつけることができます。

- 土木材料・構造工学分野
- 地盤工学分野
- 水圏の利用と防災分野
- 土木計画学分野
- 地域の水循環分野

工学研究科／環境情報工学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

本専攻は環境と調和し、持続可能な社会の構築に資する新技術の創生と人材育成を目的としています。研究分野は5分野あり、非常に幅広い領域について研究することができます。研究は、環境工学と情報工学を有機的に結びつけて最先端の実験技術を習得し、修了生は、製造業分野やソフト開発のエンジニアとして活躍しています。

- エネルギー工学分野
- 環境応用化学分野
- 環境マネジメント分野
- 水環境・生態系保全分野
- 環境光エネルギー分野

ライフデザイン学研究科／デザイン工学専攻

博士(前期)課程／博士(後期)課程

デザインは、創造と統合の両方を意味します。本専攻は、多様な生活者や地域社会に立脚し、以下の4分野における「モノづくり」「カタチづくり」「システムづくり」に関する科学的究明や技術的解決・価値創造に取組みます。広い知識と具体的技術をもったデザイナー、技術者、研究者を育成することを目指しています。

- 産業デザイン計画分野
- 環境造形計画分野
- 福祉デザイン計画分野
- 生活デザイン科学分野

大学院修了生の声

挑戦から学ぶ

さとう
佐藤 すみれ



有限会社ガルボ空間工房
工学研究科 建築学専攻 博士(前期)課程
石井敏研究室 2016年3月修了

私は現在、住宅や店舗などの建築計画・設計に関わる仕事を行っています。実務の面ではまだまだ未熟ですが、日々学びながら業務に励んでいます。大学院では、講義や研究室の活動から学ぶことはもちろんですが、学外でのインターンシップやイベント・講演会などにも積極的に参加し、挑戦してきました。さまざまな人とのつながりも増え、自身の考え方の視野が広がりました。大学院の2年間という時間で、どのように学び過ごすかは人それぞれですが、多くのことに挑戦することができる、そしてそのチャンスがあるのが大学院です。皆さんも、大学院という舞台に一步踏み出して、多くのことを学んでください。

大学院生の声

専門分野を追求できる大学院

すげつら やまと
杉浦 大和



工学研究科 環境情報工学専攻
博士(前期)課程 2年
葛西 重信研究室

大学院は、学部時代では学ぶことができない多くの経験を与えてくれる場です。

私は「微量の生体活性物質の検出を目的としたチップ型電気化学デバイスに関する研究」を東北大学と共同研究しています。葛西重信教授をはじめ研究室の仲間や共同研究先、企業など多くの人と連携して研究を進め、得られた結果を学会などで発表を行いました。学術的な知識と技術はもちろんですが、協調性やコミュニケーション能力、ディスカッション能力も学ぶことができるのが、大学院の魅力です。研究や専攻分野を深く追求したい方は、ぜひ大学院で挑戦してみてください。

大学院進学に伴う学費等

	本学卒業業者等	本学外からの入学者
入学金	-	250,000
授業料	900,000	900,000
設備負担金	-	260,000
学生諸費負担金	20,000	20,000
合計	920,000	1,430,000

●上記の他、「学生教育研究災害傷害保険料」(2年分1,750円)と「学友会費」(年額1,000円)が必要です。

●2年次以降は、の部分の納入となります。

特待生・奨学生・研究補助

特待生制度は、授業料の半額を1年間免除する制度です。本学各学科から春季学内推薦入試による進学を希望する学生を対象に、各学科が定めるGPA基準値を満たす学生のうち1名を認定します。

大学院奨学生制度は、人物・成績優秀者を対象に年額240,000円を給付する制度です。大学院入学後、各専攻から1名選考されます。

また、指導教員の研究補助(リサーチ・アシスタント)を行う場合、月額最大20,000円(年額最大240,000円)を支給しています。ほぼ全員が支給を受けています。

上記以外にも公的奨学金制度や本学教務補助員制度もあり、さまざまな経済支援の方策により、実質的な学費などは相当に低減されます。

詳しくは、入試広報課まで(022-305-3111)

玄奘大學（台湾） 大学祭参加・協議書を締結



さとう あすか
佐藤 飛鳥

国際交流委員会幹事会幹事／経営コミュニケーション学科 准教授

玄奘大学から10月13日（木）～17日（月）の日程で、教職員5名（簡副学長、張企業管理学科部長、顔企業管理学科長、池田応用外語学科長、蘇国際事務グループ長）、学生8名（企業管理学科4名、応用外語学科日本語専攻4名）が本学を訪れ、大学祭に参加しました。15日（土）には学生交流を具体化する協議書に両副学長がサインし、両学学生がお互いの大学を基点として異文化を学び、理解を深めていくこと、さらに発展して長期間滞在し、学習をする際の基礎条件を確認しました。これにより、具体的な交流のパターンが明確になり、早速28年度から交流が実現する見込みです。大学祭では経営コミュニケーション学科の国際交流企画にジョイントし、台湾における日本企業の現状の報告や、サクスの演奏をしていただきました。教員はウェルカムパーティーおよび答礼食事会で懇親を深め、今後の活発な交流を約束し、学生は松島観光、河北新報社の訪問で震災について学び、それぞれが日本・仙台、そして本学への理解を深め、絆を深めた数日間となりました。



「大学祭」経営コミュニケーション学科企画にジョイント参加した玄奘大学の学生8名

中原大学短期留学生の紹介

Mr. 林 上淳

LIN SHANG-CHU

竹内泰研究室



私は、今回で来日11回目です。「君の名は」「ゼロから始める異世界生活」が大好きで、耳から日本語を勉強していました。祖父母が日本好きで、幼い頃から北海道、沖縄、東京、京都など旅行した経験がありますが、仙台は初めてです。時間に正確な日本人や、日本の文化が好きです。日本食も大好きです。

今回の留学では、日本語をもっと勉強して、友だちをたくさん作りたいです。現在、中原大学に留学中の建築学科4年の佐藤毅さんや神山将哉さんと、台湾の美術館やオペラハウスなどの建築を見て回りました。彼らが12月に帰国したら、仙台の建築と一緒に見て回ることが楽しみです。

Ms. 張 嘉順

ZHANG JIA-SHUN

福屋粧子研究室



メディアテークで2016年3月に行われた「卒業設計日本一決定戦」を見学しました。今まで2回日本に来たことがありますが、その目的は有名な建築物を見て勉強するためでした。

今回の留学では、卒業設計の設計デザインを勉強することや日本の文化や生活を体験したいと思います。お寺や古い建物が好きなので、たくさん見学して学びたいです。

日本で古い建築物を保存する方法がとても良いので、勉強したいです。短い期間ですが、いろいろなことに挑戦したいです。今回の留学が、私の将来に大きな意味をもつことになると考えています。

Ms. 阮 漪婷

RUAN YI-TING

不破正仁研究室



中国の広東省出身で中原大学に留学しています。そして、東北工業大学に短期留学で来ました。日本のテレビドラマ「東京タワー」や漫画「NaNa」や「Skip Beat」を読んでいたため、日本に留学したいと思っていました。3回目の日本ですが、これまでは建築物を見るための数日間の滞在でした。今回は、日本の生活や文化を体験したいです。高校時代、日本語を勉強したのですが、ほとんど忘れちゃったので、この機会に日本語能力も向上させたいと考えています。日本語の発音がかわいく感じます。

また、和菓子の繊細な美しさを感じ、和菓子づくりも試してみたいと思っています。

卒業後は、日本の建築設計事務所働きたいという夢も持っています。

中国からの国費留学生の紹介

BIMの専門家をめざす広州大学出身国費留学生

きよらい 許 雷 建築学科 准教授

謝永杭さんが、10月1日（土）から学部研究生として入学しました。彼は中国・福建省の出身で、今年6月に本学の国際交流協定校である広州大学を卒業したばかりです。学部時代の成績が優秀で、本学の推薦により文部科学省国費留学生奨学金を獲得しました。日本の省エネルギーやBIM（建築情報モデリング）技術などに関心があり、日本に留学した次第です。現在は建築学科許雷研究室に所属し、英語でコミュニケーションを取りながら、日本語の勉強に励んでいます。今後は日本語やBIMの基礎知識を中心に勉強をして、大学院の進学を目指しています。一日も早く新しい環境に慣れ、活発な研究ができるように期待しています。



許雷研究室にて

The 26th International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-26) (第26回太陽光発電国際会議)に参加して



さいとう てるふみ
齋藤 輝文

環境エネルギー学科 教授

本会議の初日には、本会議に加えて、風力・波力発電のawtec、さらにClean Energy Summitという3つの国際会議が合同で、開催地シンガポールの大臣を迎えて、オープニングセレモニーが開かれました。太陽電池などの価格低下が急速に進んで、過去、誰も予想していなかったようなスピードで普及が進んでいること、懸念されたような系統に及ぼす不安定性もない実績が、現に示されていることなど、再生可能エネルギー拡大の潮流は、世界各地で主流になりつつある現実を実感させられました。筆者は以下2件の発表を行いました。"Solar Cell Conversion Efficiency Measurements Based on Electrical Substitution Method" (電力置換法に基づく太陽電池変換効率の測定) "Spectral Dependence of Photovoltaic Cell Conversion Efficiency for Monochromatic Radiation" (単色放射に対する太陽電池変換効率の波長依存性)



再生可能エネルギー関連3会議合同のオープニングセレモニー



会議場に隣接するMarina Bay Sandsの高層ホテル

18th International Conference on Advanced Learning Technologiesに参加して



おかべ まさお
岡部 雅夫

経営コミュニケーション学科 教授

フランスのナポリで平成28年10月に開催された標記会議に、参加してきました。この会議は教育における情報通信技術等先端技術の活用に関する国際会議です。発表者の顔ぶれは米国、カナダ、ロシア、スペイン、南アフリカ、サウジアラビア、韓国、日本など多彩で、私は教育におけるオントロジーの活用に関して、発表しました。各発表は、それぞれの国の状況を反映した内容で、理解の難しい部分もありましたが、逆に、自分の発表に対しては、国内ではなかなか得られない斬新な意見・アドバイスなども得られ、改めて、国際会議は勉強になるという思いを強くしました。

秋の深まりつつある杜の都から、赴いた花の都は、すでにすっかり冬の佇まいでした。



発表模様



すっかり冬の佇まいのナポリ

遠くて近いロシア・ニジェゴロド建設大学



おおぬま まさひろ
大沼 正寛

安全安心生活デザイン学科 教授

今回の訪露は、宮城県ニジェゴロド州訪問団派遣事業に同行し、ニジェゴロド州建設大学(NNGASU)を訪問して、大学間交流の可能性を探ることを目的としました。

同市は、モスクワから約400km東にある拠点都市(人口第5位)です。経済サミットでは、自動車や最新機器、伝統工芸や大学関係と多様な出展があり、県ブースにも食品・酒・米や資料類が展示され、大変にぎわっていました。NNGASUは、毎年多くの受賞者を輩出する有数の建築系大学で、デザイン・工芸研究も盛んであり、本学と親和性があります。今後交流を深めていくためには、現在の教育研究の質的維持向上が必要ですし、このことを志す好機になったと考えています。旅程を組んでいただいた宮城県の職員の方、現地でご案内いただいた方に感謝申し上げます。



NNGASUにおける協議風景



経済交流サミットにおける宮城県と本学のブース

「産学官連携フェアみやぎ2016」に出展参加

仙台国際センターにおいて、宮城県内の企業・大学などのビジネスマッチングを目的とした産学官連携フェアが、11月29日(火)に開催されました。

本学からは、コアテーマ「ロボット」に智能エレクトロニクス学科丸山次人研究室と藤田豊己研究室が出展参加しました。

本学の展示ブースには、4研究室から研究シーズのパネル・試作品などを展示し、教員、学生による研究説明を行い、COC推進室からは、都市マネジメント学科菊池輝教授、泊尚志講師によるまちづくりプロジェクトの紹介を行いました。

多くの企業の方が足を止め、熱心に研究成果の説明に聞き入っていました。そのなかで、説明をしていた学生に就活のアプローチをする企業の方もいました。

当日の会場は大変盛況で、ブースには多くの企業や研究機関の関係者が訪れ、今後の研究開発や産学連携活動に活かされる、実りのある交流ができました。



来訪者が研究試作品を動か
し、アシストカートの説明を
する丸山次人研究室の学生



来訪者に研究内容を説明する牧雅康准教授



ミニプレゼンテーションを行う鈴木郁郎准教授



中島敏教授と学生が共同で開発した分別用
ゴミ箱



ロボットを動かして、藤田豊己研究室の
学生の説明を熱心に聞く来訪者

第65・66回Tohtechサロン開催

本学一番町ロビー2階ホールにおいて、10月5日(水)と11月22日(火)にTohtechサロンを開催しました。

第65回は、講師に安全安心生活デザイン学科大沼正寛教授を迎え、「陸前スレート千軒講と風土産業の再構築」をテーマとした研究セミナーを行い、天然スレート石材に関する調査研究についてお話しいただきました。

第66回は、講師に経営コミュニケーション学科岡部雅夫教授を迎え、「オントロジーを活用した知識・ノウハウの共有」をテーマとした講

演を行っていただき、オントロジー情報工学を組織的に活用した企業の事例紹介などについてお話しいただきました。



大沼正寛教授による講演



岡部雅夫教授による講演

「第2回八木山ウィーク」を開催しました

一番町ロビー1階ギャラリーにおいて、地下鉄東西線開通1周年記念イベント「第2回八木山ウィーク」を12月2日(金)～7日(水)に開催しました。

本展示では、仙台創生プロジェクト研究の紹介および八木山周辺施設の紹介パネル展示を行いました。

週末の土・日曜日には、トークイベントを行い、八木山動物公園の獣医師、仙台日赤病院の管理栄養士、東北放送の気象予報士の方から、普段は聞けない貴重なお話を伺うことができました。

その他にも、仙台城南高校生によるロボットで遊べるイベントを行い、子どもたちに好評でした。

また、12月6日(火)開催のトークイベントでは、都市マネジメント学科菊池輝教授、泊尚志講師が、地下鉄沿線まちづくりプロジェクトの講演を行いました。

地下鉄を利用して、さらに八木山地域を知ってもらうための良いイベントとなりました。



大沼正寛研究室で制作した組立式屋台



獣医師釜谷氏から動物園の裏側の話



気象予報士尾崎氏から気象予報の話



管理栄養士上原氏から栄養分に関する話



仙台城南高校生によるロボット操作



トークイベントは大変盛況でした

◆「第10回 東北の建築を描く展」開催される

建築学科

せんだいメディアテークを会場に「第10回東北の建築を描く展」が10月21日(金)から10月25日(火)まで、開催されました。

今回は全国から426作品の応募があり、寄せられた作品の審査会で192作品が入賞・入選となりました。今回一般の部で大賞を受賞された方は、第5回から応募を続けてこられた方で、昨年は優秀賞、今年は大賞と6年目にして念願の大賞を受賞されたものでした。入賞作品は37作品で、10月22日(土)の午後1時から今野弘学長列席の下に表彰式が行われ、入賞者一人ひとりに賞状と賞金・賞品が授与されました。

会期中の来観者数は1,000名を超え、本展が仙台の芸術の秋を彩る展覧会として、仙台市民の間に定着しつつあることがうかがわれます。



「第10回東北の建築を描く展」表彰式

「第10回東北の建築を描く展」作品展示

◆インターネット安全教室の開催

つのだ ひろし
角田 裕 情報通信工学科 准教授

本学一番町ロビーにおいて、2016年11月5日(土)に独立行政法人情報処理推進機構の情報セキュリティ啓発キャラバン「インターネット安全教室」が開催されました。

今回は、主催組織のひとつであるNPO法人地域情報モラルネットワークの依頼により、情報通信工学科角田裕研究室4年生8名が共同で講演内容を作成し、代表3名が講師を務めました。

当日は、40名を超える参加者にお越しいただき、ビデオ教材などを利用して、スマートフォンやSNSの安全な利用方法など基礎的な情報セキュリティ知識について楽しく学んでいただきました。



講師を務める学生

◆建設技術展2016近畿 橋梁模型コンテスト入賞

やまだ まさき
山田 真幸 都市マネジメント学科 准教授

本学科2年大森健広さんが、マイドーム大阪で開催された橋梁模型製作コンテスト学生部門に出場し、「審査員特別賞」を受賞しました。2年連続の入賞です。大学チームの入賞は唯一であり、また毎年参加している多くの工業高校チームに混じり、普通高校出身者がこの賞を得たことは、特筆するべきと思います。未だ、誰も考えついでいないオリジナルの橋梁模型の製作に、夏休みの大半を費やしました。重り30kgを載せる試験でライバルの橋が次々と壊れて行く中、完璧に耐えた模型は審査員の評価も高く、また他の参加チームからも多くの称賛の言葉をいただきました。



橋梁模型製作コンテスト表彰式

◆ごみ減量・分別ツール開発プロジェクト 「ワケアップ! 仙台」

なかじま さとし
中島 敏 安全安心生活デザイン学科 教授

このプロジェクトは地域産学連携プロジェクト研究「せんだい創生プロジェクト」の一環で、28年6月からスタートし、29年の3月末日まで行われます。

目的は、東日本大震災以降、仙台市ではごみ排出量の増加とともに、資源物の混入状態が後を絶たないということで、その解決策の研究と開発がテーマです。そこで、仙台市環境局と在仙の六大学の学生の参加（東北工業大学から10名中2名が参加）のもと、ごみ減量・分別を行うための市民への意識付けと、仕分けするための新しいグッズ開発に取り組んでいます。



紙リサイクル回収 BOX の提案例：図はデザイン三面図



原寸模型の「紙源ポスト」 大学祭における本学のオープニングでの WAKE/UP キャンペーンの説明

◆太白区安全安心まちづくり推進モデル地区 「八木山地区」における防犯啓発活動

いとう みゆき
伊藤 美由紀 安全安心生活デザイン学科 准教授

本学が立地する八木山地区は、平成28～29年度仙台市太白区安全安心街づくり活動推進モデル地区指定になっており、本学も連合町内会などと連携し活動を行っております。

「八木山市民センターまつり」では、以前から八木山地域包括支援センターと協働で行っている「振り込め詐欺防止のための寸劇」の後に「犯罪を未然に防ぐために強めよう地域の絆」を呼びかける活動を行いました。

また「八木山フェスタ」では、本学も一員である八木山防災パフォーマンスチームの「ぼうさいダンス」の後に、八木山ベニランドや八木山動物公園で呼び掛けを行いました。



八木山動物公園駅周辺での防犯啓発活動



八木山フェスタでの防犯啓発活動

◆教職課程の4年生が聴覚支援学校で一日実習

なかじま なつこ
中島 夏子 教職課程センター 准教授

本学教職課程の4年生が、11月1日(火)に宮城県立聴覚支援学校で「一日実習」を行いました。教頭先生による講話、施設や授業の見学、高等部の産業工芸科への授業参加を通して、特別支援教育について学びました。授業参加では、高校生が作製した椅子の名前とロゴと一緒に考えるという課題が与えられました。学生は、手話を覚えたり、ホワイトボードを使って筆談したりすることで、聴覚に障害のある生徒とコミュニケーションを取りました。授業は大いに盛り上がり、学生にとっても高校生にとっても、有意義な機会となりました。



高校生(右側2名)とホワイトボードを使って課題に取り組む本学学生(左側4名)

経営コミュニケーション学科 こいわい ひろのり
小祝 慶紀 教授

経営コミュニケーション学科
さとう なつこ
佐藤 夏子 准教授 **ご紹介**



登山で鍛えた精神力と体力で研究と教育に精力的に取り組む

小祝慶紀先生は、法政大学大学院社会科学部経済学専攻博士後期課程を修了され、経済学博士の学位を取得されました。ご専門は「環境経済学」、「法と経済学」、「環境政策」です。一般企業および法政大学での勤務を経て、2011年4月、本学環境情報工学科（現 環境エネルギー学科）に着任され、昨年4月、経営コミュニケーション学科へ移籍されました。現在は両キャンパスを講義やゼミのために忙しく往復されています。学内では、就職委員会副委員長および地域連携センター副センター長として貢献されています。地域においては、宮城県ブーメラン協会の事務局としても活躍中です。学生時代にはじめての登山は、現在も継続されており、現在の心身ともに強い小祝慶紀先生があります。よく通る声での講義は、わかりやすく面白いという学生の声が多く聞かれます。



ブーメラン教室で指導する小祝慶紀教授（中央）

topics

避難訓練実施状況報告

施設管財課

本学両キャンパスにおいて、11月2日（水）午後、自衛消防隊と減災行動・体制検討WGが共同し、避難訓練を実施いたしました。

今回の訓練には、両キャンパス合せて1,558名の学生と教職員が参加しましたが、平成23年3月11日の東日本大震災およびその後の余震の経験を基に、今後も起り得る大規模地震に備え、「自分の身の安全は自分で守る」ことを想定し、学生および教職員が敏速かつ安全に避難することを目的に行いました。

昨年より避難開始時間を変更したことから、参加人数が大幅に増加しましたが、教職員および非常勤講師の方の協力を得、さらに事務方の担務者による各建物から指定避難場所へのスムーズな避難誘導により、怪我人もなく無事終了することができました。



避難中の学生



中庭への避難

column

もりた けんいち
森田 健一 ウェルネスセンター 准教授

「今、ここ」を生きる



私たちはこの世に生を授かって以来、「時間」という大きな流れの中で生きています。「氏が育ちか」という言葉もありますが、生まれながらに授かった資質、育っていく中で学んできた知恵、その双方が綾をなすように「私」を構成しています。

そこには、大切な思い出や多彩な経験、さらには嫌な記憶や拭えない心の傷なども当然「私」の一部として棲まわっています。それらは前へ進む励みになることもあれば、逆に妨害として立ちだかることもあることでしょう。

しかし、私たちが相対することができるのは「今」という瞬間だけです。過去を悔やんでも決して変えられませんし、未来を恐れても尽きることはありません。過去は「今」をよりよく過ごすため、未来は「今」を可能性に満ちた動機に包まれるために存在するものだと思うのです。

何か思うようにいかないとき、なんとなく嫌な気分にも包まれているとき、あるいは「自由」にふるまえていないと感じるとき、「今、ここ」に立ち戻ってください。余計なことは考えず（流れるままに流してしまい）、ゆったりと大きく息を吐いて、命の動きを感じ取ってほしいのです。日頃意識はしていませんが、私たちは必ず死ぬ運命にあります。人生の成功や失敗などというものは、誰がどのように決めるのでしょうか。それは「その瞬間」に、生きてきてよかったなあと実感とともに振り返られるかどうかではないでしょうか。

今後の行事予定（平成28年度）

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 25日(水) 定期試験時間割発表 ● 31日(火) 後期補講日③ ● 後期授業終了 <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1日(水)～3日(金) 後期定期試験①～③ | <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 17日(金) 後期成績発表 ● 追再試験時間割発表 ● 20日(月)・21日(火) 後期補習①② ● 22日(水)～24日(金) 後期追再試験①～③ ● 27日(月) 後期追再試験④ | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2日(木)・3日(金) 本学合同企業説明会 ● 10日(金) 卒業者発表 ● 17日(金) 学位授与式 ● 27日(月) 進級者発表 |
|---|--|--|

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577
宮城県仙台市太白区
八木山香澄町35-1
東北工業大学 入試広報課
TEL : 022-305-3144
FAX : 022-228-1813
E-mail : kouhou@tohtech.ac.jp